

# 2023年の高等教育トピックス

新增設・改組領域

「機能強化支援事業」「設置申請の傾向」

2023年12月4日  
リクルート進学総研

西村紗智

# 本日の 内容

## 1 : 2023年のトピックス

- ・「成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金」による継続的支援
- ・東京23区定員規制

## 2 : 2024年開設、設置申請の傾向

- ・2024年4月新設・開設予定の件数、分野トレンド、申請、審査の傾向など

## 2023年のトピックス：理系新增設（支援事業） & 東京23区の定員規制緩和

- 教育未来創造会議による、超大型政策（基金3002億円）が始動  
「大学・高専機能強化支援事業」
  - ・今後10年で、理系の「学部」、情報系の「大学院」強化のために助成金を支給
  - ・初回公募は23年7月に、学部枠で67校、大学院51校が選定。ほぼ**全数選定**
  - ・**学生確保のための「広報、アンケート」の経費も助成金の対象**
- 東京23区内では理学・工学分野の「情報系」に限り定員増が認められる

## 2024年開設、設置申請の傾向

- 「定員増」の認可申請、難化  
(3月申請の認可率：48% (6月) →89% (8月)、6月申請の認可率：70% (8月)、直近3年で最低)
- 情報系、データサイエンス系が最多、次に多いのは医療系
- **国立大理系**で338人の定員増申請（「**機能強化支援事業**」による定員増）
- 25年開設案件からは、「**学生確保の見通し**」に関する審査が**厳格化**

# 本日の 内容

## 1 : 2023年のトピックス

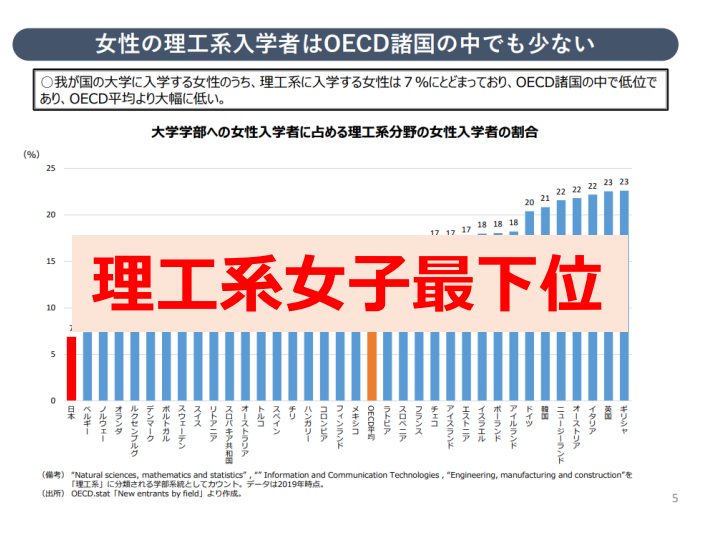
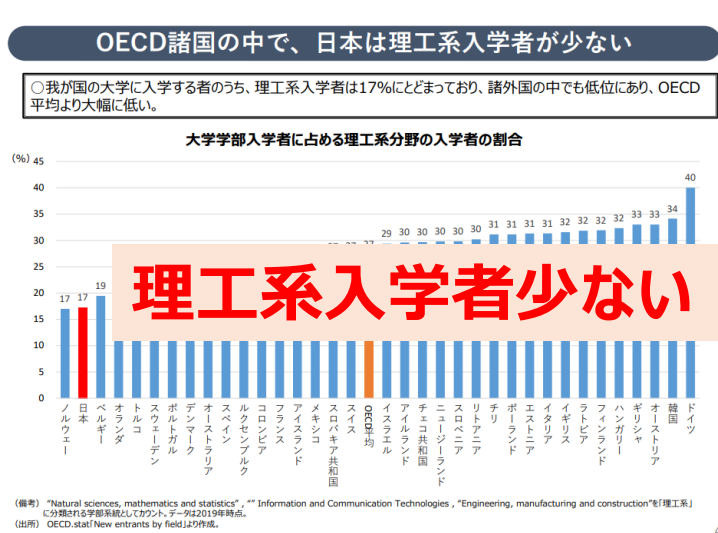
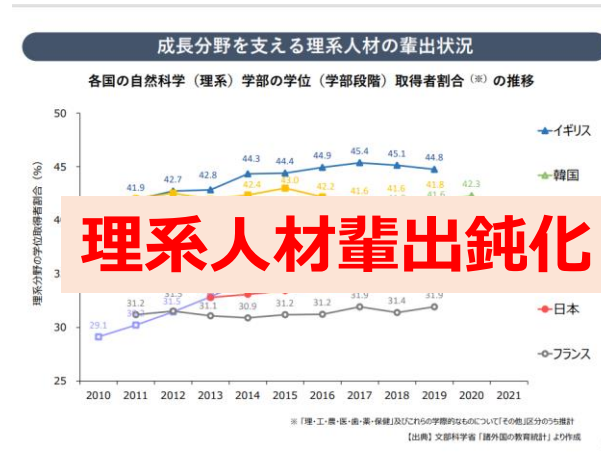
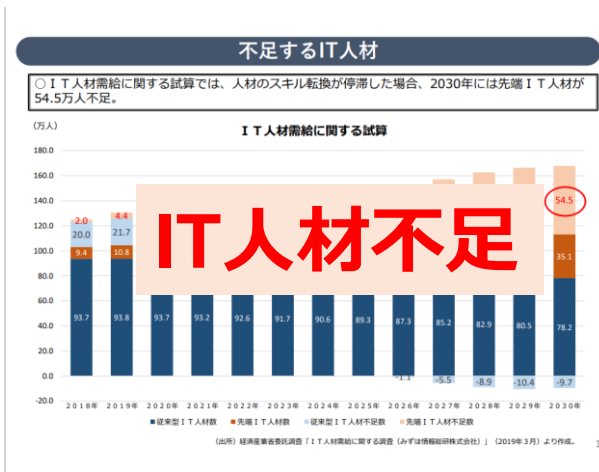
- ・「成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金」による継続的支援
- ・東京23区定員規制

## 2 : 2024年開設、設置申請の傾向

- ・2024年4月新設・開設予定の件数、分野トレンド、申請、審査の傾向など

# 「成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金」による継続的支援

- 各種課題に対応するために、自然科学系を専攻する学生を「**世界トップレベルの5割**」まで引き上げ



※出典：文部科学省 大学・高専機能強化支援事業の創設について (R5.4)

## 成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金による継続的支援の概要

- 「**世界トップレベルの5割**」を目指した具体的な支援内容

### 支援 1

**学部再編等**による特定成長分野への  
転換等に係る支援

※**理学・工学・農学関係の学位の分野を有する学部**

＜支援対象＞ **私立・公立の大学を250件程度**

＜助成金額＞ フェーズ1～3までの合計額  
フェーズ1：上限3000万円 検討体制の構築  
(事務職員人件費、物品、調査・広報など)  
フェーズ2：上限20億円程度 施設・設備整備  
フェーズ3：上限4000万円 自走化への取り組み  
(事務職員人件費、物品、調査・広報など)

＜受付期間＞ 2032 (R14) 年度まで

### 支援 2

**高度情報専門人材**の確保に向けた  
機能強化に係る支援

※**情報系分野の研究科を有する**

＜支援対象＞ **国公立の大学、高専 60件程度**

＜助成金額＞  
大学 (一般枠) : 上限10億円  
大学 (ハイレベル枠) : 上限10億円 5件程度  
大学 (特例枠) : 上限4億円 数件程度  
高等専門学校 : 上限10億円

＜受付期間＞ 2025 (R7) 年度まで

**10年程度にわたり、総額3000億円程度の基金をもって助成される**

※出典：文部科学省 大学・高専機能強化支援事業の創設について (R5.4)

# 「成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金」による継続的支援の選定結果①

- 初年度においては、67校の全数採択、助成交付額は約590億円が内定、26開設以降の案件が半数程度

## 支援1 学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援

※理学・工学・農学関係の学位分野

条件

＜支援対象＞ 私立・公立の大学を**250件**程度（2032年まで）

申請

**67**校 うち、支援2との同時申請**11**校

選定

**67**校

- ◆ うち、支援2との同時選定 7校
- ◆ うち、定員増のみの申請 5校
- ◆ うち、多数の項目で「特筆すべき事項」がある 7校
- ◆ うち、24年開設案件を申請中または届出済 15校（助成金申請時）

助成交付額 計約**590**億円 ※交付は予定額であり、今後変更の可能性があります

※計は複数学部学科を申請した場合は、学科単位で1カウント（件数）

開設年	24					25					26					27					計
カテゴリ	A	B	C	D	E・F	A	B	C	D	E・F	A	B	C	D	E・F	A	B	C	D	E・F	
公立13校	2	2	0	1	0	1	0	1	1	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	1	14
私立54校	5	3	0	2	1	6	4	2	10	0	4	2	3	2	3	10	3	2	4	0	66
	16					25					17					22					80

A「学部の新設」、B「学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）」、C「既存学部における学科の新設」、D「既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）」、E「既存学部の収容定員の増加」、F「既存学科の収容定員の増加」

- 「**世界トップレベルの5割**」をめざした具体的な支援内容

**支援2 高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援**

※情報系分野の研究科を有する

条件

〈支援対象〉 国公立の大学、高専 **60**件程度

申請

**57**校 うち、支援1との同時申請11校

選定

**51**校（一般枠36校、特例枠3校、ハイレベル枠7校、高等専門学校5校）

◆ うち、支援1との同時選定 7校

◆ うち、国立大学における学部の定員増申請 9校

**助成交付額 計約450億円** ※交付は予定額であり、今後変更の可能性があります



# 「成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金」による継続的支援の初回スケジュール

## 2023年度スケジュール

第2回公募のスケジュールについては、NIADのHPほか公表情報を必ずご確認ください。

日程	内容	参照先
4月18日（火）	実施要項ほか公募情報の公表	NIADホームページ
4月24日（月）	申請書様式の公表	NIADホームページ
5月9日（火）	事前エントリー締切	NIADホームページの申請用フォームからエントリー
5月24日（水）	<b>17：00 申請書提出締切</b>	専用URLにてアップロード
～7月中旬	審査期間	各大学の担当者へメール、電話にて連絡
7月21日（金）	<b>AM：内示（選定結果）</b>	各大学へメールにて伝達
	12:00 選定内容の公表	NIADおよび文科省のホームページ
8月2日（水）	事業概要の作成依頼	各大学へメールにて伝達
8月9日（水）	<b>交付内定通知※</b>	各大学へメールにて伝達
8月21日（月）	17：00 事業概要の提出締切	専用URLにてアップロード
8月31日（木）	事業概要の公表	NIADのHP
10月6日（金）	次年度の応募に関する予備調査締切	各大学へ事務連絡あり

※交付内定通知の日より前に発生した経費は、助成対象とならない

## 東京23区内定員規制（特定地域内学部収容定員の増加抑制）の例外規定

- 23区内定員規制は2024（R6）年度より、「デジタル人材」「理学または工学」分野における例外規定
  - ① 産業界からのニーズのある「高度なデジタル人材」の育成を目的とした、理学または工学関係の学部  
※デジタル社会形成基本法の25条に該当する人材
  - ② 開設後7年以内に、元の定員に戻す「臨時的な定員」の扱い  
※ただし、異なる設置者間での調整も可
  - ③ 学生が1都3県外での企業等におけるインターンシップ、研修等に参加。  
地方における就業促進の策を組み込んだプログラムであること  
また、地方の大学との連携等で、  
地方におけるデジタル人材の育成にも寄与すること

### 注意

- ・24（R6）年は東京工業大（40人）が申請済
- ・25（R7）年開設の場合は、24年3月の定員増認可申請時より前に特例措置の申請を行う

# 本日の 内容

## 1 : 2023年のトピックス

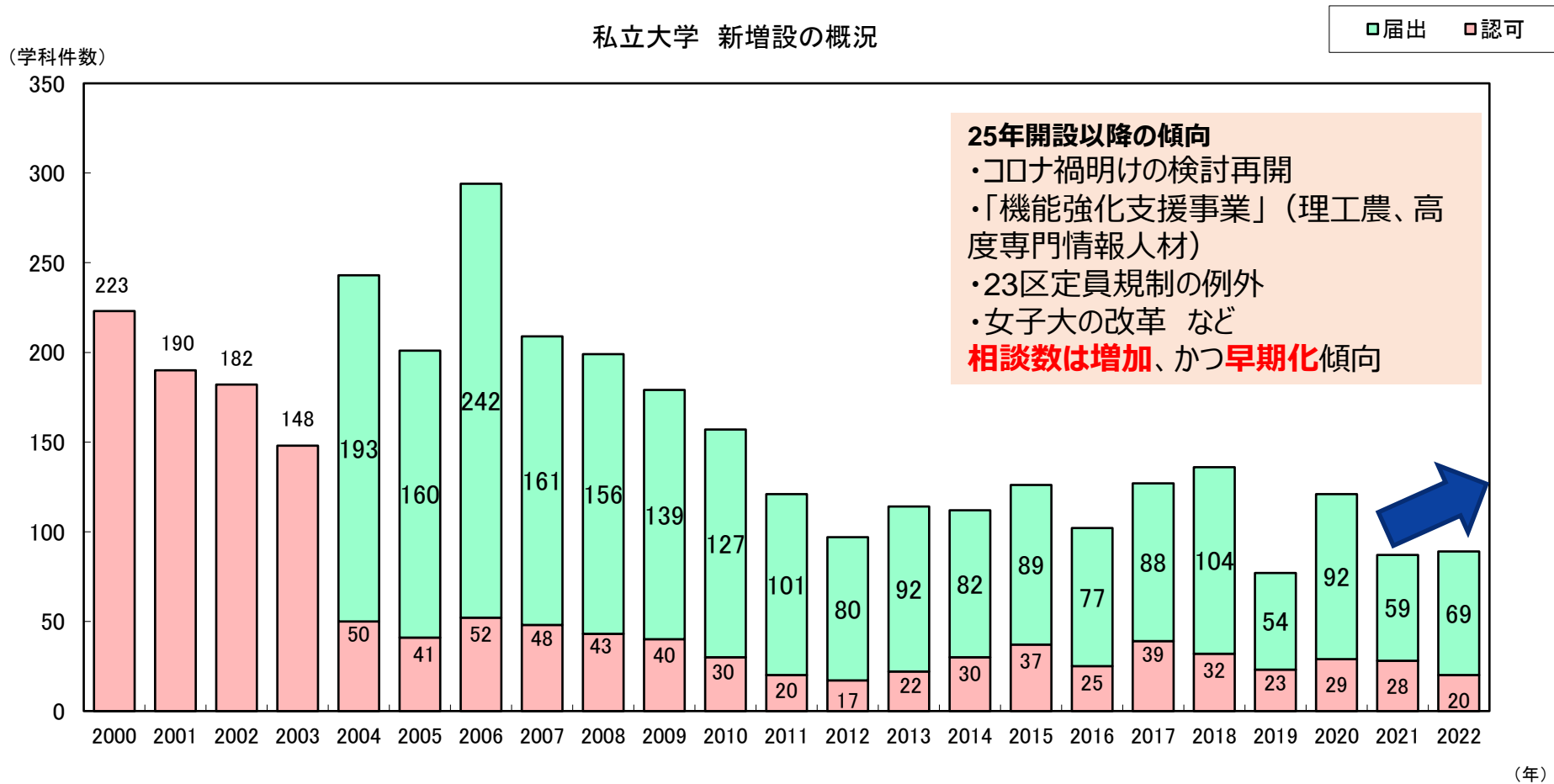
- ・「成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金」による継続的支援
- ・東京23区定員規制

## 2 : 2024年開設、設置申請の傾向

- ・2024年4月新設・開設予定の件数、分野トレンド、申請、審査の傾向など

# 私立大学における新增設の概況

2006年がピーク、その後、漸減し、現在は100件前後で推移  
2021年以降は徐々に増加傾向



リクルート進学総研調べ

- 2024（R6）年は、公立の専門職大学1校を含む5校が大学設置を、学部学科等の設置は公立2校を含む16校が申請し、うち全校が認可。ただし、大学設置1校、学部学科等の設置5校は、8月末に認可されず、10月末に答申（認可）がずれ込んだ。
- 申請数は前年並み

2023（R5）年

	公立	私立	合計
大学設置 (含む専門職大)	0	6	6
学部設置	0	14	14
学部学科の設置	0	3	3
通信教育課程の設置	0	2	2

2024（R6）年

	申請			認可（答申）		
	公立	私立	合計	公立	私立	合計
大学設置 (含む専門職大)	1	4	5	1	4	5
学部設置	2	10	12	2	10	12
学部学科の設置	0	4	4	0	4	4
通信教育課程の設置	0	0	0	0	0	0

数字は校数

- 2024（R6）年の届出数は、前年よりもやや多い

2023（R5）年開設届出一覧

	公立	私立	合計
4月	1	45	46
5月	0	4	4
6月	0	3	3
7月	0	5	5
8月	0	0	0
合計	1	57	58



2024（R6）年開設届出一覧

	公立	私立	合計
4月	3	47	50
5月	1	4	5
6月	0	5	5
7月	0	4	4
8月	0	2	2
合計	4	62	66

8月追加分  
を含む

数字は校数

- 2024（R6）年は、前年よりも申請件数は減
- 3月申請案件の6月認可は、27校中13校。6月の認可率48%、過去3年間で最低水準であった。8月において11校が認可され、最終的な認可は27校中24校、認可率は88%
- 6月申請案件の8月認可は、10校中7校。8月の認可率は70%。10月において2校が認可され、最終的な認可は10校中9校、認可率は90%

2023（R5）年

	私立	合計
3月申請	31	31
6月申請	10	10
合計	41	41

2024（R6）年

	申請	答申（認可）
	私立	私立
3月申請	27	24
6月申請	10	9
合計	37	33

数字は校数

1

## データサイエンス・情報系

設置認可で6件、定員増認可で6件、届出で13件が設置される。公立大学は3校とも、データサイエンス・情報系にて設置、**最多の分野**

2

私立**2080人**（通教・編入除く） +  
国立理系**338人** 定員増

定員の純増、および学科等の設置を伴う定員増、私大においては2080人、37校が申請（2023年度は41校）**6月の認可率は48%と過去最低水準**。国立理系でも機能強化支援事業での臨時定員扱いで338人の定員増を申請

3

## 薬学・医療系

薬学は25年以降の**定員抑制前最後の申請**、千葉で3校（順天堂大薬学部、国際医療福祉大成田薬学部、東邦大薬学部）が申請。医療系は大学新設が3校、学部学科設置認可が4校、届出4校。地域の医療人材不足ニーズに対応

4

## 通信教育課程

3620人（編入学定員含む）の定員増、**うち、1630人は3年次編入学**定員、リカレント文脈等に対応。※日本通信大、京都芸術大 の2校





スタディサプリ

高校・大学の取り組み事例等はHPに掲載しています。  
「リクルート進学総研」

リクルート進学総研

